

連載 清瀬市と市内三大学連携事業
「がんとの向き合い方」インタビュー③

清瀬市と日本社会事業大学・明治薬科大学・国立看護大学校は、平成26年3月10日に、包括連携協定を締結し、これまでにさまざまな連携事業に取り組んできました。今年「がんとの向き合い方」をテーマにしたインタビュー動画を4回にわたって連載します。

肺がんの死亡率はすべてのがんの中で一番高く、より新しい治療法の開発が望まれています。今回は、明治薬科大学分析化学

研究室准教授の鈴木俊宏先生に、肺がん治療における薬物治療の概要と、近年目覚ましく進歩している分子標的薬、また、その使用にあたって必要な遺伝子検査について簡単にお答えいただきました。

肺がんに限らず、最新の薬物治療についてご興味がある方はぜひご覧ください。☎未来創造課マネジメント係 ☎042-497-1807



動画はこちら

シニアしっとく講座

「知って **得** とく老後術」

老後を安心して過ごすために、知っておくと得をする講座=しっとく講座を下表のとおり開催します。1回のみ参加も可能です。各回先着25人(予定)。

☎電話で介護保険課地域包括ケア係 ☎042-497-2082へ
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止となる場合があります。

	日時	場所	講師	内容
第2回	9月27日(火) 午後2時~4時	アミューホール	居宅介護支援事業所アイズ 江藤勝利氏、清瀬市介護保険課職員	初めての介護保険~自分らしい生活を続けるために~
第3回	10月28日(金) 午後2時~4時	生涯学習センター	未定	けんこう管理術~お口をケアして歯っピースマイル~
第4回	11月29日(火) 午後2時~4時	生涯学習センター	さくら司法書士事務所 司法書士・日本フィナンシャルプランナーズ 東京支部会員 志村理氏	老後に考えたいお金のこと~もしもの時に備えるこれからの終活~

※第1回「スマホ講座」は7月1日に実施しました。

消費生活相談の現場から

気付いたら、支払いが続いていた!?
~サブスクリプション解約トラブル~

【事例】数年前、インターネットで好きなスポーツチームの番組を観るために、月2,000円のサブスクリプション(以下サブスク)で番組視聴サービスを契約した。その後、よく見ていた番組が放送されなくなったため解約手続きを行った。きちんと解約手続きをしたつもりだったが、しばらくしてから、その後も支払いが続いていたことに気が付いた。契約先に確認しようとしたが、問い合わせ先の電話番号が分からず、チャットでも連絡を入れたが、返事がない。

【アドバイス】サブスクとは、定額料金を支払うことで一定の商品やサービスを利用することができるものです。近年、動画配信、音楽配信、学習教材、外食、洋服などさまざまな種類のサブスクがあり、これらは一度契約すると、解約手続きを行わない限り支払いが継続されます。



事例のような解約手続きに関するトラブルが増えていることから、令和4年6月、特定商取引法が改正され、事業者はサイト上の契約時の最終画面で、契約内容のほか、解約方法を明記することが義務付けられました。さらに、令和5年6月施行予定の改正消費者契約法では、利用者に解約方法をわかりやすく提供することが事業者の努力義務となります。

手続きを終えたら、解約完了画面や解約手続き完了メールを保管し、解約手続きが完了した証拠を残すようにしましょう。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、サポートセンターなどが問い合わせ窓口を休止し、メールでの対応のみとなっている場合もあります。

サブスクに申し込む前に、トラブルが起きた場合の問い合わせ先や問い合わせ方法、解約する際の手続きについてもあらかじめ確認しておくようにしましょう。

☎消費生活センター ☎042-495-6212 (相談専用)

敬老祝金

市は敬老の日に際し、長寿を祝うとともに長年にわたる社会的貢献に感謝し、対象の方に敬老祝金を支給しています。

令和4年度の対象者と支給額は下表のとおりです。なお、支給を受けられるのは令和4年8月1日時点で清瀬

市に居住している方に限ります。支給対象の方にはすでに申請書類を郵送しています。忘れずに申請してください。☎福祉総務課福祉総務係 ☎042-497-2056



対象者と支給額

年齢	生まれた年	支給額
満88歳	昭和9年	5,000円
満100歳	大正11年	30,000円
満101歳以上	大正10年以前	10,000円

敬老大会の中止

例年9月~10月に行っていた敬老大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度も昨年と同様、中止とさせていた

だきます。ご理解・ご協力をお願いします。☎福祉総務課福祉総務係 ☎042-497-2056

新型コロナウイルス感染症拡大による市関連イベントの中止情報

市民まつりをはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大によって中止した市の関連イベント一覧を市ホームページに掲載しています。詳しくは右記QRコードから確認してください。



清瀬と結核

第4話 ベトレヘムの園

一 病院街の形成

昭和6年の府立清瀬病院に続き、昭和8年には療養農園「ベトレヘムの園」が開かれました。

ベトレヘムの園を開いたフロジャク神父は、昭和2年、江古田の東京市療養所に初めて患者を見舞い、結核患者の困窮と惨状を知りました。そして、療養所近くに、患者と患者の子どもたちの居場所となる施設を設けましたが、もっと多くの患者を受け入れられるよう、軽快患者のための農園(コロニー)を開きたいと考えました。

その後、清瀬で理想的な土地と出会い、これが実現します。療養農園「ベトレヘムの園」の誕生です。多くの人からの寄付や皇室からの御下賜金に支えられたといいます。療養農園の収容人員は60人で、患者の栄養補給のために乳牛も飼っていました。

療養農園開園の2年後、昭和10年には病院認可を受け、「ベトレヘムの園病院」が誕生しました。

栄養失調と結核で倒れる人も多



写真：開院当時のベトレヘムの園病院玄関(社会福祉法人慈生会提供)

くいた昭和12年ごろには結核患者の行路病者が担ぎ込まれることもよくあり、フロジャク神父は自身のベッドも差し出して患者を収容したといえます。

昭和15年、御下賜金による紀元二千六百年記念恩賜病棟が竣工し、200床の増床となりました。外気舎も昭和13年に5棟、16年に13棟増築されています。

昭和19年の夏、病院のベッドはすべて木製にしたという記録は、戦時の空気をうかがわせます。☎市史編さん室 ☎042-497-1813